## IEC向けクラシックバッテリーキャビネット

## Galaxy VS/VLおよびEasy UPS 3-Phase Modularに対応

## 設置マニュアル

GVSCBC7C, GVSCBC7D, GVSCBC7E, GVSCBC10A2, GVSCBC10B2

最新情報は、Schneider ElectricのWebサイトをご確認ください 1/2024







## 法律情報

本書に記載されている情報は、製品/ソリューションに関する一般的な説明、技術的特性、および 推奨事項を含んでいます。

本書は、詳細な調査や運用/現場別の開発計画や概略図の代用となるものではありません。また、特定ユーザーの用途に対する製品/ソリューションの適合性または信頼性を判断するために使用すべきものではありません。関連する特定の用途または使用に関して製品/ソリューションの適切かつ包括的なリスク分析、評価、および試験を行うこと、または選択した専門家(インテグレーター、設計者等)に実施させることは、当該ユーザーの義務とします。

本書で言及されているシュナイダーエレクトリックブランドならびにシュナイダーエレクトリックSEおよびその子会社の商標は、シュナイダーエレクトリックSEまたはその子会社の所有物です。その他すべてのブランドは、各所有者の商標である場合があります。

本書およびその記載内容は、該当する著作権法で保護されており、情報提供のみを目的とし提供されています。本書のいかなる部分も、いかなる形式や手段(電子的、機械的、複写、記録、またはその他)によっても、どのような目的であっても、シュナイダーエレクトリックから書面による事前の許可を得ずに、再製または頒布することはできません。

シュナイダーエレクトリックは、「現状のまま」文書を調べる非独占な個人ライセンスを除き、本ガイドまたはその記載内容を商業的に使用する権利またはライセンスを付与することはありません。

シュナイダーエレクトリックは、本書の内容またはその形式に関して、いつでも予告なく変更または更新する権利を有します。

適用法により認められる範囲で、シュナイダーエレクトリックおよびその子会社は、本書の情報 コンテンツの誤りや記入漏れまたは本書に含まれる情報の使用に起因する結果、もしくはその 結果から生じる結果に関し、一切責任を負いません。

## 目次

重要な安全関連手順 — ここに記載されている指示を保管しておいて	Χ.
ださい	5
安全性に関する注意	6
電気的安全性	8
バッテリーの安全性	9
仕様	10
クラシックバッテリーキャビネット仕様	
トリップ設定	11
推奨ケーブルサイズ	13
トルク仕様	15
離隔距離	
クラシックバッテリーキャビネットの積荷重量と寸法	16
クラシックバッテリーキャビネットの重量および寸法	
環境	
適合規格	
設置手順	17
ケーブルの準備	18
信号ケーブルのGalaxy VS UPSへの接続	19
信号ケーブルのGalaxy VL UPSへの接続	22
信号ケーブルのEasy UPS 3-Phase Modularへの接続	25
電源ケーブルの接続	28
翻訳済み安全ラベルの製品への追加	30
最終設置	31
クラシックバッテリーキャビネットの撤去または新しい場所への移動	33

# 重要な安全関連手順 — ここに記載されている指示を保管しておいてください

ここに記載されている指示を注意深く読み、装置の設置、操作、整備、保守を行う前に装置についてよく理解してください。以下の安全に関するメッセージは、危険の可能性を警告するため、または手順を明確または簡潔にする情報への注意を喚起するために、このマニュアルまたは装置を通じて随所に記載されています。



「危険」または「警告」の安全に関するメッセージに対する記号の説明は、指示に従わないと人体への危害を引き起こす電気的な危険性があることを示しています。



これは、安全警報の記号です。人体への危害の危険性があることを警告する目的で使用されます。人体への危害や死亡の危険性を避けるため、この記号が付いているすべての安全性メッセージに従ってください。

## ▲危険

「**危険**」は、指示に従わなかった場合に、**死亡や重傷を引き起こす**危険な状況を示します。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

## ▲警告

「警告」は、指示に従わなかった場合に、**死亡や重傷を引き起こす可能性がある**危険な 状況を示します。

上記の指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷を負う可能性があります。

## ▲注意

「注意」は、指示に従わなかった場合に、**軽傷を負う可能性がある**危険な状況を示します。

上記の指示に従わないと、負傷または機器の損傷を負う可能性があります。

### 注記

「注記」は、人体への危害には関連しない操作に関する注記です。安全警報の記号は、このタイプの安全性メッセージには使用されません。

上記の指示に従わないと、機器の損傷を負う可能性があります。

### ご注意ください

電気機器の設置、操作、修理、保守は、必ず有資格者が行ってください。この資料の使用に起因するいかなる結果についても、Schneider Electricが責任を負うことはありません。

有資格者とは、電気機器の構造、設置、操作に関するスキルと知識を持ち、危険を認識して回避するための訓練を受けた担当者のことを指します。

IEC 62040-1:「Uninterruptible power systems (UPS) -- Part 1:Safety Requirements」に記載されているように、バッテリーが搭載されているこの機器の点検、設置、保守は、適切な技術者が行う必要があります。

適切な技術者とは、リスクを察知し、機器で発生する可能性のある危険を回避できる、適切な教育と経験を有する技術者のことを指します(IEC 62040-1、3.102項)。

## 安全性に関する注意

## △▲危険

#### 感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

設置マニュアルの指示をすべて読んでから、この製品の設置や作業を開始してください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

## ▲▲危険

#### 感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

すべての作業が完了し、設置場所の清掃が終了するまで、この製品を設置しないでください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

### △△危険

#### 感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

この製品は、Schneider Electric社の仕様と要件に従って設置する必要があります。特に、外部および内部の保護(上流ブレーカー、バッテリーブレーカー、ケーブル配線など)と環境要件は重要です。これらの要件に従わなかった場合、Schneider Electric社は責任を負わないものとします。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

## △△危険

#### 感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

UPSシステムは地方自治体および国家における規則に従って設置される必要があります。 UPSシステムは、以下の規格に従って設置してください。

- IEC 60364 (60364-4-41 感電に対する保護、60364-4-42 熱効果に対する 保護、60364-4-43 - 過電流に対する保護を含む )、**または**
- NEC NFPA 70、または
- カナダの電気規則(C22.1、パート1)

使用地域で適用される規格に従ってください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

### ▲▲危険

#### 感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

- この製品は、導電性汚染物質や湿気のない、温度管理された屋内環境に設置してください。
- この製品は、システムの重量を支えられる、不燃性の平坦で硬い床面(例、コンクリート面)に設置する必要があります。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

## △▲危険

#### 感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

この製品は、設計上、次のような影響物が存在する動作環境に設置することはできません。

- 有害な煙
- 爆発の危険があるガス、粉体混合物、腐食性ガス、他の熱源からの伝導熱や輻射熱
- 水分、磨耗性塵埃、蒸気、または過度な湿度
- 菌類、昆虫類、有害生物
- 塩分を含んだ空気または汚染された冷却材
- IEC 60664-1が規定するレベル2を超える汚染物
- 異常振動、衝撃、傾斜
- 直射日光、熱源、強力な電磁場

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

## △△危険

#### 感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

取り付けられている配線口カバーに、ドリルまたは切削によりケーブルや電線管用の穴を開けないでください。また、このUPSシステムの近くで穴開けまたは切断作業を行わないでください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

## **AA警告**

#### アークフラッシュの危険

設置マニュアルで指示されていない限り、この製品に機械的変更 (キャビネット部品の取り外し、ドリルや切削による穴開けなど)を加えないでください。

上記の指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷を負う可能性があります。

### 注記

#### 過熱の危険

この製品周囲のスペースの要件を順守し、製品の動作中に製品の換気口をふさがないでください。

上記の指示に従わないと、機器の損傷を負う可能性があります。

### 電気的安全性

## △△危険

#### 感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

- 電気機器の据え付け、運転、点検、保守は、必ず有資格者が実施する必要があります。
- 適切な個人保護具(PPE)を使用し、安全な電気作業方法に従って作業してください。
- このUPSシステムに対する作業は、内部、外部の別を問わず、このUPS装置のあらゆる電源をオフにしてから実施してください。
- このUPSシステムの作業を始める前に、保護接地も含め、あらゆる端子間で危険な電圧がかかっていないことを確認してください。
- UPSには、蓄電池が内蔵されています。主電源が断たれた状態でも、危険な電圧が存在する可能性があります。このUPSシステムを設置または点検する前に、必ず装置電源をオフにするとともに、主電源とバッテリーの接続を解除してください。このUPS装置内部を開く場合は、コンデンサーの放電が終わるまで5分程度待ってから開いてください。
- UPSは適切にアース処理/接地されていなければなりません。また、高い漏れ電流のため、アース処理/接地導体を最初に接続する必要があります。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

### ▲▲危険

#### 感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

バックフィード保護が標準設計となっていないシステムの場合、絶縁装置の入力端子での危険電圧やエネルギーを防ぐために、自動絶縁装置 (バックフィード保護オプション、もしくはIEC/EN 62040-1**または**UL1778 5th Editionの2つの規格のうち使用地域で適用されるいずれかの規格要件を満たしている他の装置 )を設置する必要があります。上流電源の停電後15秒以内に装置を開放する必要があり、仕様に従った定格である必要があります。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

UPSの入力電源が外部断路装置を通じて接続されているときで、開放により中性線断となる場合、もしくは自動のバックフィード防止装置が機器外部に設置されているときもしくはIT配電システムに接続されているときは、UPS入力端子およびUPSから離隔しているすべての一次電源断路装置およびそれら断路装置とUPS間の外部アクセスポイントに、次のテキスト(またはUPSシステムが設置されている国の言語で同等に記載されたテキスト)を表示するラベルをユーザーが貼り付ける必要があります。

## ▲▲危険

#### 感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

電圧バックフィードの恐れがあります。この回路で作業する前にUPSを絶縁し、保護接地を含むすべての端子間の危険電圧を確認してください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

### バッテリーの安全性

## △△危険

#### 感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

- バッテリーサーキットブレーカーは、Schneider Electric社が定義した仕様と要件に従って設置する必要があります。
- バッテリー点検は、バッテリーや必要な注意事項に関して十分な知識を持つ有資格者 以外は行わないでください。 資格を持っていない人をバッテリーに近づけないようにしてく ださい。
- バッテリー端子を接続したり取り外したりする前に、充電源の接続を解除してください。
- 爆発の危険があるため、バッテリーを焼却処分しないでください。
- 不良なバッテリーは温度が高くなるため、表面に触れると火傷する可能性があります。
- バッテリーを解体または改造したり、本来とは異なる方法で使用したりしないでください。 漏れ出した電解液は肌や目に害を与えるため、注意してください。 毒性を持っている場合もあります。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

### △▲危険

#### 感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

バッテリーには、感電やショートの危険性があります。バッテリーを取り扱う際は、以下の注意 に従う必要があります。

- 腕時計や指輪など、金属製の物は外してください。
- 絶縁ハンドル付きの工具を使用してください。
- 保護メガネ、手袋、保護靴を装着してください。
- バッテリーの上に工具や金属のパーツを置かないでください。
- バッテリー端子の接続や切断を行う前に、充電源の接続を解除してください。
- バッテリーが誤って接地されていないかどうかを確認してください。誤って接地されている場合は、接地から外してください。接地されたバッテリーに触れると、感電やショートが発生する可能性があります。適切な技術者が設置や保守を行う間、接地を外しておくことで感電の危険性を減らすことができます(接地式電源回路を持たない機器やリモートバッテリー電源が該当します)。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

## △△危険

#### 感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

バッテリー交換時は、必ず同タイプかつ同数のバッテリーまたはバッテリーパックを使用してください。お使いのシステムのバッテリーについては、クラシックバッテリーキャビネットのラベルを参照してください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

## ▲注意

#### 機器損傷の危険

- UPSシステムにバッテリーを取り付けますが、UPSシステムの電源を入れる準備ができるまで、バッテリーを接続しないでください。バッテリー接続から72時間(3日間)以上経過する前に、UPSシステムの電源を入れる必要があります。
- 充電要件により、バッテリーの保管期間は6カ月以内とする必要があります。このUPSシステムを長期間通電せずに保管する場合、1カ月に1度以上の頻度で24時間通電することをお勧めします。この措置でバッテリーが充電され、修理不能な損傷を防ぐことができます。

上記の指示に従わないと、負傷または機器の損傷を負う可能性があります。

990-5913E-018

## 仕様

## 注記

#### 機器損傷の危険性

UPSシステムの仕様の詳細については、UPS設置マニュアルを参照してください。

上記の指示に従わないと、機器の損傷を負う可能性があります。

## クラシックバッテリーキャビネット仕様

## △▲危険

### 感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

クラシックバッテリーキャビネットはGalaxy VS UPS、Galaxy VL UPS、またはEasy UPS 3-Phase Modularとともに使用する必要があります。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

注記: Galaxy VS UPSには、最大で2つのクラシックバッテリーキャビネット (GVSCBC7C、GVSCBC7D、GVSCBC7E、GVSCBC10A2、または GVSCBC10B2)を接続することができます。

注記: Galaxy VL UPSには、最大で2つのクラシックバッテリーキャビネット (GVSCBC10A2またはGVSCBC10B2) を接続することができます。

注記: Easy UPS 3-Phase Modularには、最大で4つのクラシックバッテリーキャビネット (GVSCBC7C、GVSCBC7D、GVSCBC7E、GVSCBC10A2、または GVSCBC10B2 ) を接続することができます。

商用参照名	バッテリータイプ	バッテリーブロック数
GVSCBC7C	XP12V1800¹またはXP12-240	36
GVSCBC7D	XP12-150	40
GVSCBC7E	XP12-150	46
GVSCBC10A2	XP12-240	48
GVSCBC10B2	XP12-350	40

<sup>1.</sup> 標準装備されなくなりました。受注生産として注文できます(リードタイムがかかります)。

## トリップ設定

キャビネットの設置時にトリップを設定する必要があります。以下の表を参照して、トリップの設定を行ってください。

### **GVSCBC7C**

UPS定格	20 ~ 50 kW			60 kW			80 kW			100 kW		
力率	0.8	0.9	1	0.8	0.9	1	0.8	0.9	1	0.8	0.9	1
ブレーカータイプ	C25S3D	C25S3DおよびC253MG250D								NA		
Ir設定	175			200			250			250		
Im設定	1250	1250										

### **GVSCBC7D**

UPS定格	20 kW		30 kW			40 ~ 50 kW			60 kW			
力率	0.8	0.9 1 0.8 0.9 1				0.8	0.9	1	0.8	0.9	1	
ブレーカータイプ	C10S3D	C10S3DおよびC103MG080										
lr設定	56			72			80			80	NA	
Im設定	400	00										

## **GVSCBC7E**

UPS定格	20 ~ 50 kW			60 kW			80 kW			
力率	0.8	0.9	1	0.8	0.9	1	0.8	0.9	1	
ブレーカータイプ	C25S3Dおよ	225S3DおよびC253MG200D								
lr設定	140			160			200			
lm設定	1000									

### **GVSCBC10A2**

UPS定格	20 ~ 60 kW 80 kW				100 kW			120 kW			150 kW				
力率	8.0	0.9	1	0.8	0.9	1	0.8	0.9	1	0.8	0.9	1	0.8	0.9	1
ブレーカータイプ	C25S3	C25S3DおよびC253MG250D N									NA				
Ir設定	175			175	175	200	200	225	225	225	250	250	250		
lm設定	1250														

UPS定格	200 kW	250 kW	300 kW	350 kW	400 kW	450 kW	500 kW			
力率	1									
ブレーカータイプ	C25S3DおよびC	C25S3DおよびC253MG250D								
クラシックバッテリーキャビ ネット数	2 x GVSCBC10- A2	2 x GVSCBC10- A2	3 x GVSCBC10- A2	3 x GVSCBC10- A2	4 x GVSCBC10- A2	4 x GVSCBC10- A2	4 x GVSCBC10- A2			

990-5913E-018

仕様

UPS定格	200 kW	250 kW	300 kW	350 kW	400 kW	450 kW	500 kW
力率	1						
Ir設定	225	250	225	250	225	250	250
Im設定	1250						

## **GVSCBC10B2**

UPS定格	20 ~ 80 kW			100 kW			120 kW			150 kW		
力率	0.8	0.9	1	0.8	0.9	1	0.8	0.9	1	8.0	0.9	1
ブレーカータイプ	C40S3T	C40S3TM320D										
lr設定	224			224	256	288	288	320		320		
Im設定	1500											

UPS定格	200 kW	250 kW	300 kW	350 kW	400 kW	450 kW	500 kW
力率	1						
ブレーカータイプ	C40S3TM320E	)					
クラシックバッテリーキャビ ネット数	2 x GVSCBC10- B2	2 x GVSCBC10- B2	3 x GVSCBC10- B2	3 x GVSCBC10- B2	4 x GVSCBC10- B2	4 x GVSCBC10- B2	4 x GVSCBC10- B2
lr設定	288	320	288	320	288	320	320
Im設定	1500						

## 推奨ケーブルサイズ

## △△危険

### 感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

すべての配線は、国が定める基準および / または電気規定に準拠する必要があります。 最大許容ケーブルサイズは95 mm²です。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

このマニュアルに記載されているケーブルサイズは、IEC 60364-5-52の表B.52.3 (52-C2)の以下の表記内容に基づいています。

- 導体温度90°C
- 周囲温度30°C
- 銅ケーブル使用
- 設置方法C

PE/保護接地ケーブルは、IEC 60364-4-54の543条の表54.3に基づいています。

周囲温度が30°Cを超える場合、IECで明記されている補正係数に従ってより大きな導体を選択する必要があります。

### **GVSCBC7C**

UPS定格	20 ~ 60 kW			80 kW			100 kW			
力率	0.8 0.9 1			0.8	0.9 1			0.9	1	
DC+/DC- ( mm <sup>2</sup> )	50			70			70	NA		
DC PE ( mm <sup>2</sup> )	25			35			35			

### **GVSCBC7D**

UPS定格	20 ~ 30 kW		40 ~ 50 kW			60 kW				
力率	0.8	0.9	1	0.8 0.9 1		0.8	0.9	1		
DC+/DC- ( mm <sup>2</sup> )	16			35		35		35		
DC PE ( mm <sup>2</sup> )	10			16		16				

### **GVSCBC7E**

UPS定格	20 ~ 60 kW			UPS定格 20~60 kW			80 kW		
力率	0.8 0.9 1			0.8	0.9	1			
DC+/DC- ( mm <sup>2</sup> )	35			50					
DC PE ( mm <sup>2</sup> )	16			25					

990-5913E-018

## **GVSCBC10A2**

UPS定格	20 ~ 80 kW		100 ~ 120 kW			150 kW			
力率	0.8	0.9	1	0.8	0.9	1	0.8	0.9	1
DC+/DC- ( mm <sup>2</sup> )	50			70		70		NA	
DC PE ( mm <sup>2</sup> )	25			35		35			

UPS定格	200 kW	250 kW	300 kW	350 kW	400 kW	450 kW	500 kW		
力率	1	1							
クラシックバッテリーキャビ ネット数	2 x GVSCBC10- A2	2 x GVSCBC10- A2	3 x GVSCBC10- A2	3 x GVSCBC10- A2	4 x GVSCBC10- A2	4 x GVSCBC10- A2	4 x GVSCBC10- A2		
DC+/DC- ( mm <sup>2</sup> )	70	70							
DC PE ( mm <sup>2</sup> )	35								

## **GVSCBC10B2**

UPS定格	20 ~ 60 kW		80 ~ 100 kW			120 ~ 150 kW		
力率	0.8	0.9	1	0.8 0.9 1		0.8	0.9	1
DC+/DC- ( mm <sup>2</sup> )	50		70		95			
DC PE ( mm <sup>2</sup> )	25		35		50			

UPS定格	200 kW	250 kW	300 kW	350 kW	400 kW	450 kW	500 kW
力率	1						
クラシックバッテリーキャビ ネット数	2 x GVSCBC10- B2	2 x GVSCBC10- B2	3 x GVSCBC10- B2	3 x GVSCBC10- B2	4 x GVSCBC10- B2	4 x GVSCBC10- B2	4 x GVSCBC10- B2
DC+/DC- ( mm <sup>2</sup> )	70	95					
DC PE ( mm <sup>2</sup> )	35	50					

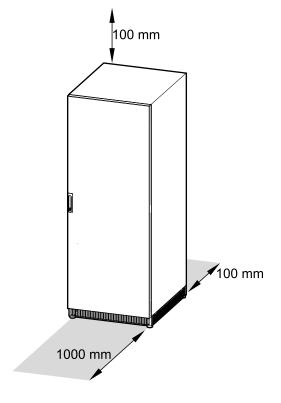
## トルク仕様

ボルトサイズ	トルク
M4	1.7 Nm
M5	2.2 Nm
M6	5 Nm
M8	17.5 Nm
M10	30 Nm
M12	50 Nm

## 離隔距離

**注記**: 離隔距離の必要寸法は、通気性と保守作業の目的でのみ表示しています。使用地域での追加要求事項については、使用地域の安全規格および基準を参照してください。

注記: バッテリーキャビネットによって生成される水素の濃度が高くならないように、室内を換気してください。 通気の最小推奨値は2.41 m³/hです。



990-5913E-018

## クラシックバッテリーキャビネットの積荷重量と寸法

商用参照名	重量kg	高さmm	幅mm	奥行きmm
GVSCBC7C	920	1980	815	970
GVSCBC7D	589	1980	815	970
GVSCBC7E	810	1980	815	970
GVSCBC10A2	1300	1980	1130	970
GVSCBC10B2	1532	1980	1130	970

## クラシックバッテリーキャビネットの重量および寸法

商用参照名	重量kg	高さmm	幅mm	奥行きmm
GVSCBC7C	900	1900	710	845
GVSCBC7D	569	1900	710	845
GVSCBC7E	790	1900	710	845
GVSCBC10A2	1102	1900	1010	845
GVSCBC10B2	1368	1900	1010	845

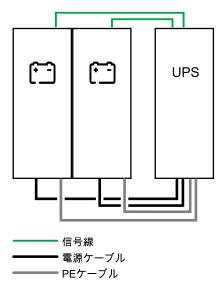
## 環境

	動作時	保管時
温度	0 °C ~ 40 °C	-15 °C ~ 40 °C
相対湿度	0~95%、結露なきこと	10~80%、結露なきこと
標高	0 ~ 1000 m	
保護クラス	IP20	
塗装色	RAL 9003、光沢度85%	

## 適合規格

安全性	IEC 62040-1:2017, Edition 2.0, Uninterruptible Power Systems (UPS) - Part 1:Safety requirements
性能	IEC 62040-3:2011-03, 2nd edition Uninterruptible Power Systems (UPS) - Part 3:Method of specifying the performance and test requirements(第2版無停電電源装置(UPS)第3部: 性能規定方法および試験要求事項)
環境要件	IEC 62040-4:2013-04, 1st edition Uninterruptible Power Systems (UPS) - Part 4:Environmental aspects – Requirements and reporting(第1版無停電電源装置(UPS)第4部:環境的な要素 - 要件および報告)
マーキング	CE
接地システム	TN-C, TN-S, TT
過電圧カテゴリ	OVCIII
保護クラス	I
汚染度	2

## 設置手順



注記: バッテリーバンクとUPS間の距離は200 m以内でなければなりません。これ以上離れた距離に設置する場合は、Schneider Electricまでお問い合わせください。

- 1. ケーブルの準備, 18ページ
- 2. 次のいずれかを実行します。
  - 信号ケーブルのGalaxy VS UPSへの接続、19ページ、または
  - 信号ケーブルのGalaxy VL UPSへの接続, 22ページ、または
  - 信号ケーブルのEasy UPS 3-Phase Modularへの接続, 25 ページ
- 3. 電源ケーブルの接続, 28ページ
- 4. 翻訳済み安全ラベルの製品への追加,30ページ
- 5. 最終設置, 31ページ

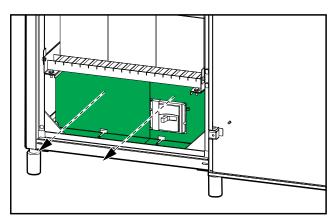
事後必須条件: 設置済みのクラシックバッテリーキャビネットの移動と撤去については、クラシックバッテリーキャビネットの撤去または新しい場所への移動, 33 ページを参照してください。

990-5913E-018

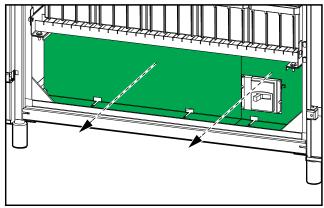
## ケーブルの準備

- 1. トアを開きます。2本のネジを取り外して、左側のドアを開きます(GVSCBC10A2またはGVSCBC10B2の場合)。
- 2. バッテリーブレーカーをOFF(開)にしてロックアウトまたはタグアウトします。
- 3. ブレーカー保護プレートを取り外します。

### GVSCBC7C、GVSCBC7D、GVSCBC7E



### GVSCBC10A2、GVSCBC10B2



4. 銅製のバーやケーブルを使用して、クラシックバッテリーキャビネットからキットを取り外します。取り外したキットはバッテリーの相互接続で使用するため、安全な場所に保管してください(電源ケーブルの接続、28ページを参照)。

## 信号ケーブルのGalaxy VS UPSへの接続

**注記**: 信号ケーブルは電源ケーブルから切り離して配線し、十分な絶縁を確保してください。

注記: 二重絶縁信号ケーブルを使用してください。 最小定格が600 Vの信号ケーブルを使用してください。

1. UPSに付属している温度センサーを、クラシックバッテリーキャビネットの上部に取り付けます。

## ▲▲警告

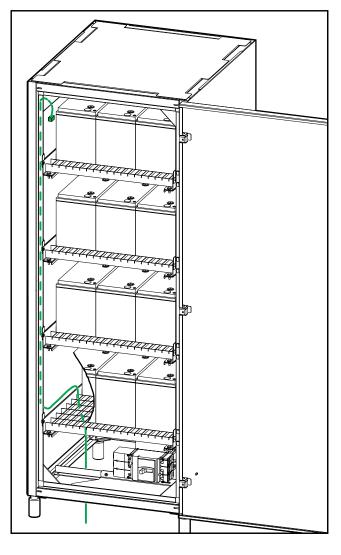
### 火災の危険性

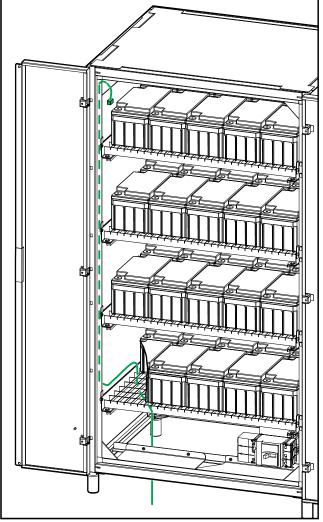
説明に従って温度センサーを配置し、温度計測が適切に行われるようにしてください。

上記の指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷を負う可能性があります。

### GVSCBC7C、GVSCBC7D、GVSCBC7E

#### GVSCBC10A2、GVSCBC10B2

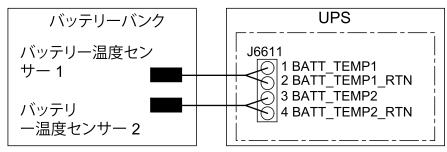




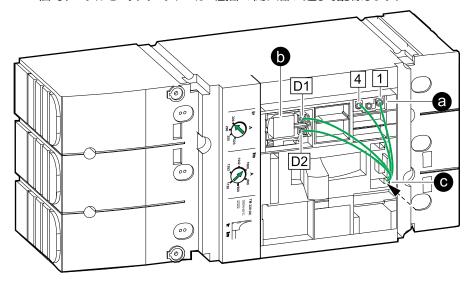
2. バッテリー温度センサーのケーブルをクラシックバッテリーキャビネットの底部を通してUPSに配線し、以下のように接続します。

注記: UPSには、温度センサーが1つ同梱されています。追加の温度センサー (0J-0M-1160)を購入する場合は、Schneider Electricまでお問い合わせください。

注記: バッテリー温度センサーのケーブルは、Class 2およびSELVです。Class 2回路とSELV回路は、主回路から二重絶縁する必要があります。

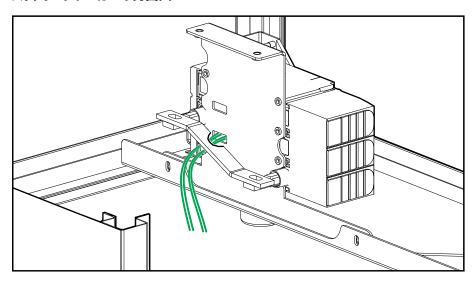


- 3. バッテリーブレーカーのカバーを取り外します。
- 4. 以下の手順で、信号ケーブルをバッテリーブレーカーに接続します。
  - a. 信号ケーブルをAUXスイッチに接続します。
  - b. 信号ケーブルを不足電圧トリップコイルに接続します。
  - c. 信号ケーブルをバッテリーブレーカー底部の開口部に通して配線します。

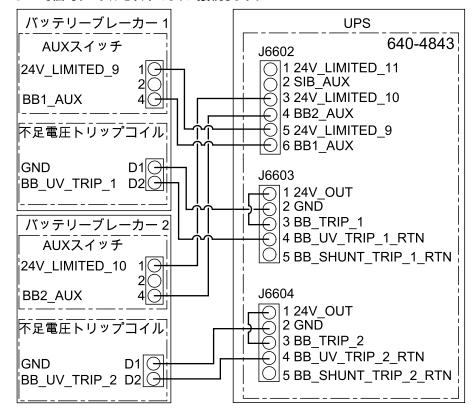


5. 信号ケーブルを、バッテリーブレーカーの背面からクラシックバッテリーキャビネット底部を通して配線します。

### バッテリーブレーカーの背面図



- 6. バッテリーブレーカーにカバーを再度取り付けます。
- 7. UPSで信号ケーブルを以下のように接続します。



## 信号ケーブルのGalaxy VL UPSへの接続

**注記**: 信号ケーブルは電源ケーブルから切り離して配線し、十分な絶縁を確保してください。

注記: 二重絶縁信号ケーブルを使用してください。最小定格が600 Vの信号ケーブルを使用してください。

1. UPSに付属している温度センサー0M-1160を、クラシックバッテリーキャビネットの上部に取り付けます。

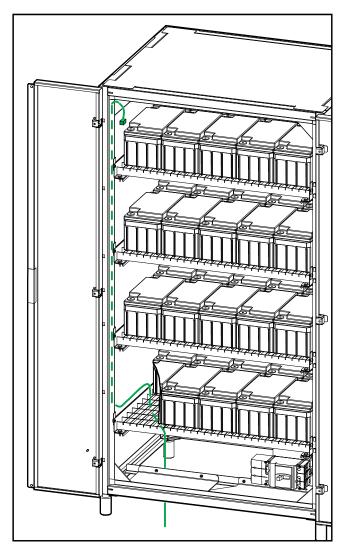
## ▲▲警告

#### 火災の危険性

説明に従って温度センサーを配置し、温度計測が適切に行われるようにしてください。

上記の指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷を負う可能性がありま す。

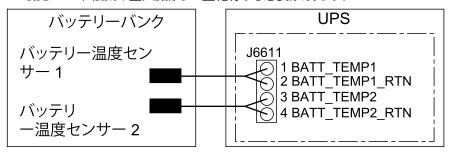
#### GVSCBC10A2、GVSCBC10B2



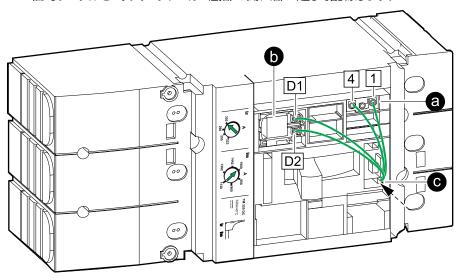
2. バッテリー温度センサーのケーブルをクラシックバッテリーキャビネットの底部を通してUPSに配線し、以下のように接続します。

注記: UPSには2つの温度センサーが付属しています。

注記: バッテリー温度センサーのケーブルは、Class 2およびSELVです。Class 2回路とSELV回路は、主回路から二重絶縁する必要があります。

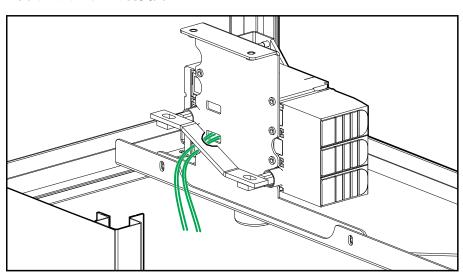


- 3. バッテリーブレーカーのカバーを取り外します。
- 4. 以下の手順で、信号ケーブルをバッテリーブレーカーに接続します。
  - a. 信号ケーブルをAUXスイッチに接続します。
  - b. 信号ケーブルを不足電圧トリップコイルに接続します。
  - c. 信号ケーブルをバッテリーブレーカー底部の開口部に通して配線します。

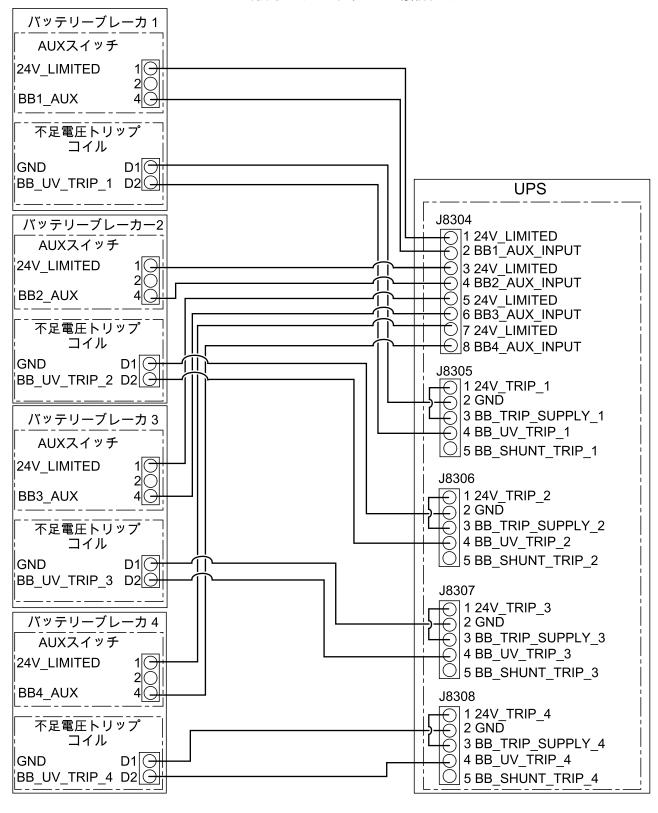


5. 信号ケーブルを、バッテリーブレーカーの背面からクラシックバッテリーキャビネット底部を通して配線します。

### バッテリーブレーカーの背面図



- 6. バッテリーブレーカーにカバーを再度取り付けます。
- 7. UPSで信号ケーブルを以下のように接続します。



## 信号ケーブルのEasy UPS 3-Phase Modularへの接続

**注記**: 信号ケーブルは電源ケーブルから切り離して配線し、十分な絶縁を確保してください。

注記: 二重絶縁信号ケーブルを使用してください。 最小定格が600 Vの信号ケーブルを使用してください。

1. バッテリー温度センサーを取り付けます(付属していません)。

注記: 温度センサー (SP3OPT006) はオプションキットとして利用できます。

## ▲▲警告

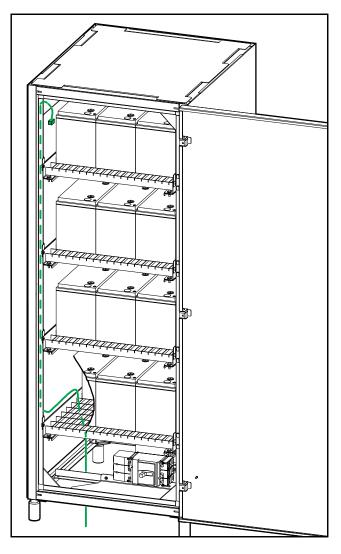
### 火災の危険性

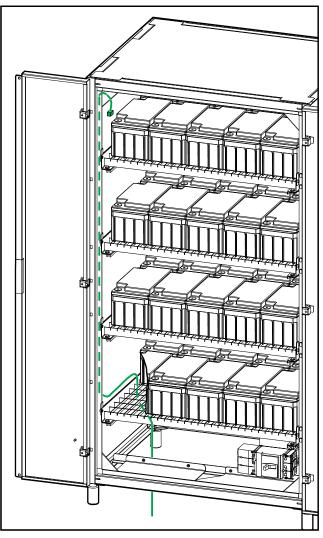
説明に従って温度センサーを配置し、温度計測が適切に行われるようにしてください。

上記の指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷を負う可能性があります。

#### GVSCBC7C、GVSCBC7D、GVSCBC7E

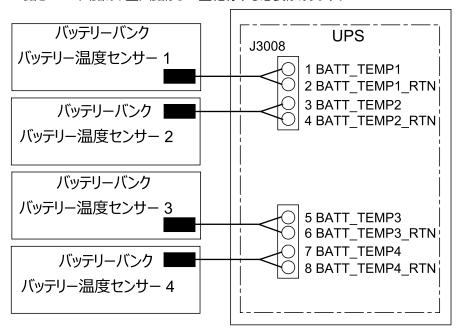
#### GVSCBC10A2、GVSCBC10B2



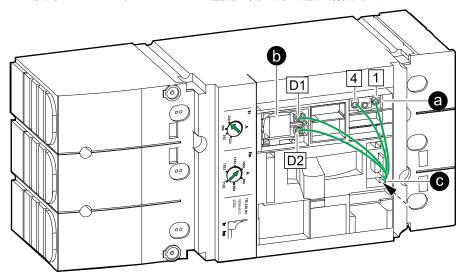


2. バッテリー温度センサーのケーブルをクラシックバッテリーキャビネットの底部を通してUPSに配線し、以下のように接続します。

注記: バッテリー温度センサーのケーブルは、Class 2およびSELVです。Class 2回路とSELV回路は、主回路から二重絶縁する必要があります。

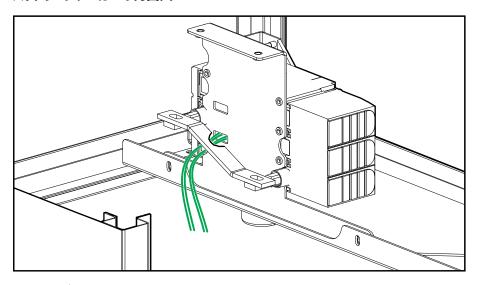


- 3. バッテリーブレーカーのカバーを取り外します。
- 4. 以下の手順で、信号ケーブルをバッテリーブレーカーに接続します。
  - a. 信号ケーブルをAUXスイッチに接続します。
  - b. 信号ケーブルを不足電圧トリップコイルに接続します。
  - c. 信号ケーブルをバッテリーブレーカー底部の開口部に通して配線します。

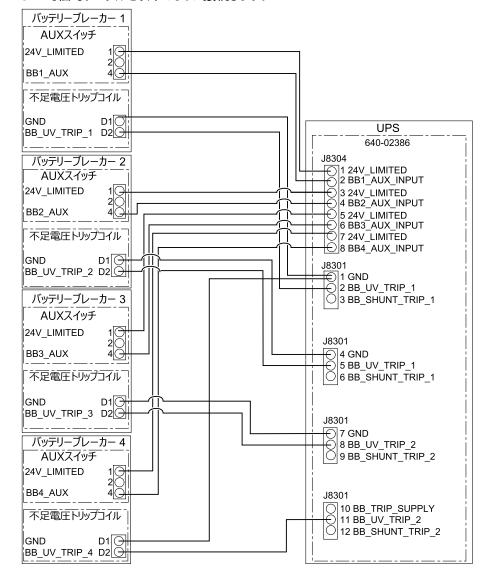


5. 信号ケーブルを、バッテリーブレーカーの背面からクラシックバッテリーキャビネット底部を通して配線します。

### バッテリーブレーカーの背面図



- 6. バッテリーブレーカーにカバーを再度取り付けます。
- 7. UPSで信号ケーブルを以下のように接続します。



## 電源ケーブルの接続

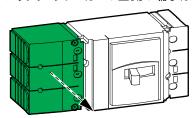
## ▲▲危険

### 感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

DCケーブルとバッテリーケーブルをクラシックバッテリーキャビネットに接続する前に、UPSの電源をすべて切ってください。

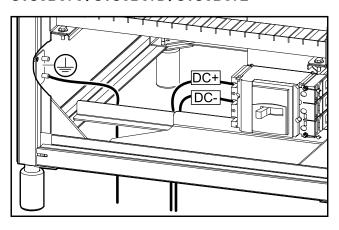
上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

1. バッテリーブレーカーの左側の端子カバーを取り外します。

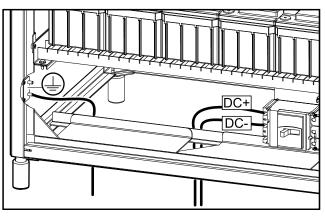


2. PEケーブルをクラシックバッテリーキャビネットの底部を通して配線し、PEケーブルを接続します。

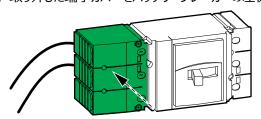
#### GVSCBC7C、GVSCBC7D、GVSCBC7E



#### GVSCBC10A2、GVSCBC10B2



- 3. DCケーブルをクラシックバッテリーキャビネットの底部を通して配線し、DCケーブル (DC+、DC-)を接続します。DCケーブルを接続する場合は、ロックワッシャー (別売)を使用してください。
- 4. 取り外した端子カバーをバッテリーブレーカーの左側に戻します。



5. ブレーカー保護プレートを元に戻します。

6. 同梱されている銅バーまたは銅製ケーブルを使用して、クラシックバッテリーキャビネットの各棚のバッテリーを相互接続し、バッテリーブレーカーの右側に接続します。クラシックバッテリーキャビネットのフロントドアの内側にある接続図を参照してください。

## △▲危険

#### 感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

バッテリーには、感電やショートの危険性があります。バッテリーを取り扱う際は、以下の注意に従う必要があります。

- 腕時計や指輪など、金属製の物は外してください。
- 絶縁ハンドル付きの工具を使用してください。
- 保護メガネ、手袋、保護靴を装着してください。
- バッテリーの上に工具や金属のパーツを置かないでください。
- バッテリー端子の接続や切断を行う前に、充電源の接続を解除してください。
- バッテリーが誤って接地されていないかどうかを確認してください。誤って接地されている場合は、接地から外してください。接地されたバッテリーに触れると、感電やショートが発生する可能性があります。適切な技術者が設置や保守を行う間、接地を外しておくことで感電の危険性を減らすことができます(接地式電源回路を持たない機器やリモートバッテリー電源が該当します)。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

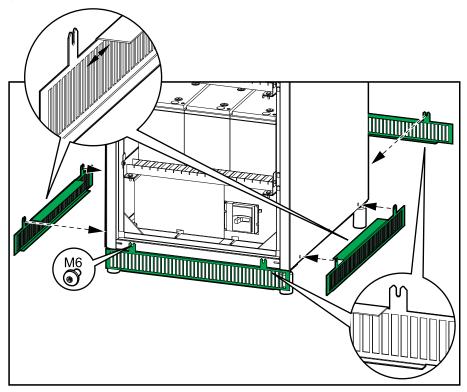
## 翻訳済み安全ラベルの製品への追加

製品の安全ラベルは、英語とフランス語で記載されています。製品には翻訳済み安全ラベルのシートが同梱されています。

- 1. 製品に同梱されている翻訳済み安全ラベルの付いたシートを取り出します。
- 2. どの885-XXX番号が翻訳済み安全ラベルの付いたシートに記載されているかを確認します。
- 3. シートにある翻訳済み安全ラベルの番号885-XXXと一致する安全ラベルを製品上で探します。
- 4. 目的の言語で記載されている差し替え用の安全ラベルを、フランス語で記載されている 既存の安全ラベル上に追加します。

## 最終設置

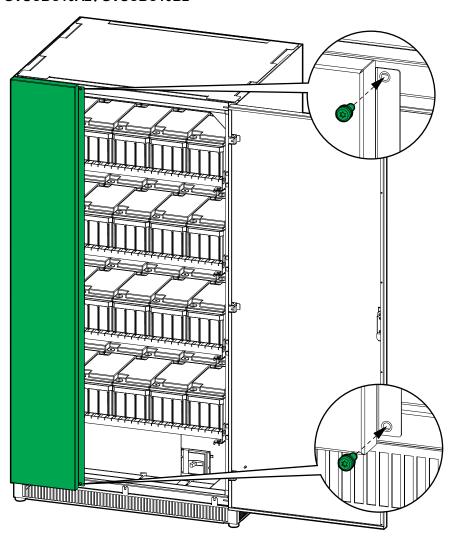
1. 付属のキックプレートを、クラシックバッテリーキャビネットの前面、背面、側面に取り付けます。



注記: キックプレートを取り外す場合は、クラシックバッテリーキャビネットの撤去または移動の手順に必ず従ってください。詳細については、クラシックバッテリーキャビネットの撤去または新しい場所への移動、33ページを参照してください。

2. ドアを閉めます。 2本のネジを取り付けて、左側のドアを閉めます ( GVSCBC10A2またはGVSCBC10B2の場合 ) 。

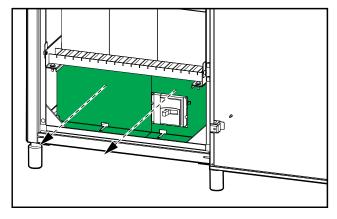
### GVSCBC10A2、GVSCBC10B2



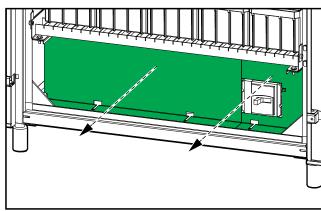
## クラシックバッテリーキャビネットの撤去または新しい場所への 移動

- 1. トアを開きます。2本のネジを取り外して、左側のドアを開きます(GVSCBC10A2またはGVSCBC10B2の場合)。
- 2. バッテリーブレーカーをOFF (開)にしてロックアウトまたはタグアウトします。
- 3. ブレーカー保護プレートを取り外します。

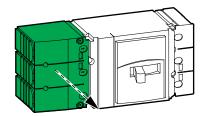
### GVSCBC7C、GVSCBC7D、GVSCBC7E



### GVSCBC10A2、GVSCBC10B2

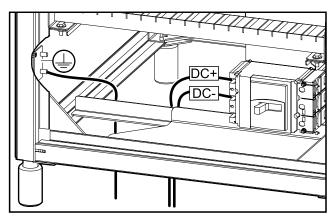


4. バッテリーブレーカーの左側の端子カバーを取り外します。

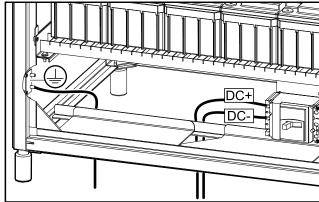


5. バッテリーブレーカーからDCケーブルとPEケーブルを切断して取り外します。

### GVSCBC7C、GVSCBC7D、GVSCBC7E



#### GVSCBC10A2、GVSCBC10B2



6. 各棚のバッテリー間にある相互接続銅バーまたは相互接続ケーブルを切断して取り外します。バッテリーブレーカーの右側からバッテリーケーブルを切断して取り外します。クラシックバッテリーキャビネットのフロントドアの内側にある配線図を参照してください。

### 4.4.危険

### 感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

バッテリーには、感電やショートの危険性があります。バッテリーを取り扱う際は、以下の注意に従う必要があります。

- 腕時計や指輪など、金属製の物は外してください。
- 絶縁ハンドル付きの工具を使用してください。
- 保護メガネ、手袋、保護靴を装着してください。
- バッテリーの上に工具や金属のパーツを置かないでください。
- バッテリー端子の接続や切断を行う前に、充電源の接続を解除してください。
- バッテリーが誤って接地されていないかどうかを確認してください。誤って接地されている場合は、接地から外してください。接地されたバッテリーに触れると、感電やショートが発生する可能性があります。適切な技術者が設置や保守を行う間、接地を外しておくことで感電の危険性を減らすことができます(接地式電源回路を持たない機器やリモートバッテリー電源が該当します)。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

7. 棚からバッテリーを取り外します。バッテリーは必要に応じてリサイクルまたは再利用します。

### △▲危険

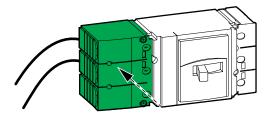
#### 感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

バッテリー点検は、バッテリーや必要な注意事項に関して十分な知識を持つ有資格者以外は行わないでください。 資格を持っていない人をバッテリーに近づけないようにしてください。

- 鉛酸バッテリーは適切にリサイクルしてください。バッテリーには鉛と希硫酸が含まれています。
- バッテリーは国や地域の規制に従って廃棄してください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

8. 取り外した端子カバーをバッテリーブレーカーの左側に戻します。

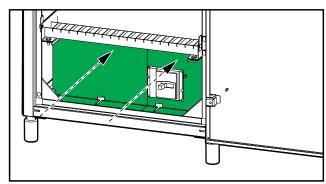


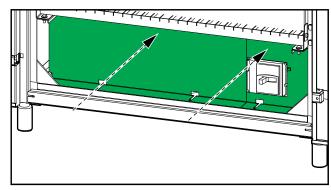
9. クラシックバッテリーキャビネットからすべての信号ケーブルを切断して取り外します。

10. ブレーカー保護プレートを元に戻します。

### GVSCBC7C、GVSCBC7D、GVSCBC7E

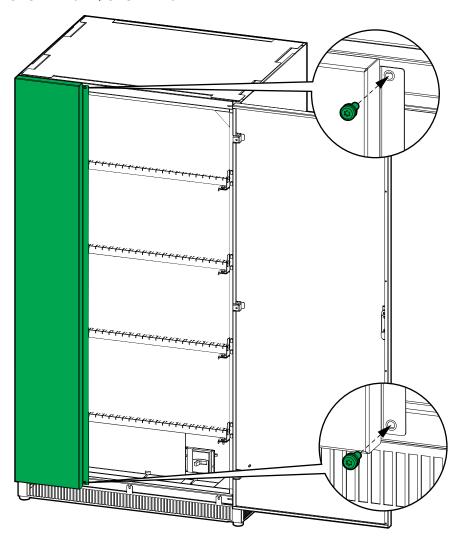






11. ドアを閉めます。 2本のネジを取り付けて、左側のドアを閉めます(GVSCBC10A2またはGVSCBC10B2の場合)。

### GVSCBC10A2、GVSCBC10B2



12. キックプレートを、クラシックバッテリーキャビネットの前面、背面、側面から取り外します。

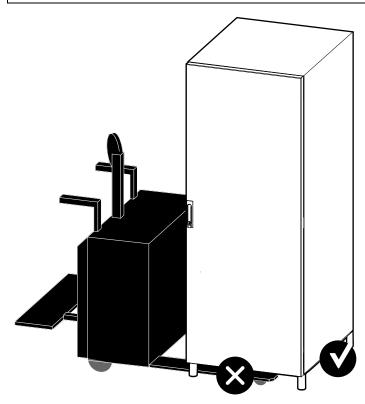
13. クラシックバッテリーキャビネットを左側または右側からパレットトラックで持ち上げます。

## ▲警告

#### 転倒の危険

- キャビネットはフォークリフトで持ち上げないようにしてください。パレットトラックを使用してください。
- キャビネットは前面または背面から持ち上げないようにしてください。左側または右側から持ち上げてください。

上記の指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷を負う可能性があります。



- 14. 次のいずれかを実行します。
  - クラシックバッテリーキャビネットを撤去します。
  - クラシックバッテリーキャビネットを新しい場所に移動して取り付けます。
- 15. クラシックバッテリーキャビネットを新しい場所に取り付ける場合: バッテリーはクラシック バッテリーキャビネットを新しい場所に移動してから再度取り付けます。バッテリーの相互接続、信号ケーブルの取り付け、電源ケーブルの取り付けなどを行う場合は、設置マニュアルの手順に従ってください。取り付けの概要については、設置手順, 17 ページを参照してください。

Schneider Electric 35 rue Joseph Monier 92500 Rueil Malmaison France

+ 33 (0) 1 41 29 70 00



規格、仕様、設計はその時々で変更されるため、この出版物に含まれる情報は 必ず確認を取ってください

© 2018 – 2024 Schneider Electric. 著作権保有

990-5913E-018